

(資料)

第2回
中学校部活動・地域移行の
あり方検討委員会
資料

令和6年10月21日(月)

常滑市教育委員会

学校教育課 生涯学習スポーツ課

○第1回会議の振り返り

(1) 中学校部活動の背景

- ・ **学校部活動**の教育的意義は大きいですが、**急速な少子化**などの影響で、**今までと同じ体制での継続は困難**に。
- ・ **国**は「持続可能な活動」や「教職員の負担軽減」のため**休日部活動の地域移行**を進める方針。
⇒ **令和5年度から令和7年度を改革推進期間**
- ・ **県**は令和6年度から「**あいち地域クラブ活動人材バンク**」
制度を開始して市町村を**支援**

(2) 中学校部活動の現状等整理

- ・ 市内中学生の **83%** が部活動に参加
- ・ 生徒数の減少により、特に小規模校の **部活動種目が減少**
- ・ **活動日・時間**： **平日最大2時間**、 **休日最大3時間**
- ・ **休養日**： **週3日以上** (平日2、休日1)

(3) 部活動の課題等

- メリット : 人間関係の構築、成長、コミュニケーション能力向上など
- デメリット : 時間的余裕の減少、ストレス、学業への影響

(4) 地域クラブの試行状況

令和5年度

- ・ 剣道（集約型）、サッカー（分散型）、吹奏楽（集約型）

令和6年度

- ・ 柔道（集約型）、卓球（一部集約型） ※上記3種目は継続

★試行アンケート結果

- メリット : 他校生徒との練習で刺激、質の高い指導など
- デメリット : 送迎負担、習熟度に応じた指導体制、指導員の確保

(5) 市内で活動する地域団体

①スポーツ系

体育協会（競技部、振興部、スポーツ少年団）、その他民間団体等

②文化系

文化協会、その他民間団体等

○第2回会議に向けて

- ・生徒、保護者、教職員アンケートを実施する。
- ・地域団体と調整しながら、受け皿となる団体を模索する。

(前回ここまで)

本日の検討事項

1. アンケート結果(児童生徒、保護者、教職員)
2. 市内団体の意向調査結果(スポーツ・文化)
3. 地域移行の手法について
4. 近隣自治体の状況
5. 平日部活動の状況
6. 休日部活動の地域移行後の大会参加について(他市の状況)
7. 意見交換
8. 今後のスケジュール

1. アンケート結果

(1) 児童・生徒(小5～中2)

- ①現部活動への期待(中学生): 学校生活を楽しく、技能向上、仲間づくり
- ②学校外での活動率: 小学生7割、中学生6割弱が何らかの活動に参加している
- ③地域クラブ活動への参加意欲: 小中学生とも5割弱が前向きな参加意欲
- ④参加したくない理由: 好きなことに時間を使いたい
- ⑤参加してみたい種目: 学校部活動にない種目が多数
- ⑥期待すること: 趣味程度に楽しく活動したい
- ⑦不安に思うこと: 移動・経済・時間面に負担感、ケガ等を含むトラブル

現役の小中学生は、情報化・多様性社会の中で、親の世代が中学生だった頃と比べ、学校生活において部活動及び地域クラブ活動に対し、競技志向・勝利至上主義ではなく、人生を楽しく豊かにするため、適度に参加したい傾向がみられる。

また、現部活動にはない、バドミントン、料理、ダンスなどをやってみたいと考える小中学生の割合が多かった。

(2)保護者

- ①現部活動への期待: **楽しく豊かに、仲間づくり、精神的に強く**
- ②地域クラブ活動への参加: **60%が前向き**
- ③期待すること: **技術向上や仲間づくり**
- ④参加させたくない理由: **送迎負担、休養や家族・友人との時間ほしい**
- ⑤費用負担: **月額600～3000円が7割**
- ⑥不安に思うこと: **送迎・経済面、人間関係やけが等緊急対応**

小中学生に比べ、技術向上や精神面で強くなることを望む声が強い傾向にあるものの、楽しさや仲間づくりを最も重要視している。送迎・経済面、けが等緊急対応への不安もみられ、地域クラブ活動に関しては、一定の配慮も必要であると思われる。

現部活動にはない、バドミントンや、パソコン・プログラミング・英会話など将来役に立ちそうなことをやらせたいという思いも読み取れる。

(3)教職員

①部活顧問経験:9割が顧問経験、5割が経験種目、3割が未経験種目

②やりがい・負担感:4割がやりがいある、8割弱が負担感

※負担=プライベート時間なくなる、大会引率負担、やって当たり前風潮

③顧問を続けたいか:5割が続けたくない、2割が続けたい

④地域移行を進めるべきか:7割が進めるべき

ほとんどの先生が部活動顧問を経験している中、一定のやりがいはあるものの、プライベート時間が削られ、大会引率の負担などが大きいことが読み取れる。一部、続けたい先生がいるものの、部活動の地域移行を望む声がほとんどである。

一方で指導を続けたい先生が、地域の指導者と同様に、業務の負担にならない範囲で地域クラブ活動へ関わることができるような仕組みづくりも望まれる。

2. 市内団体の意向調査結果(スポーツ・文化)

(1) スポーツ系(体育協会)

団体名	意向	部活	受入可能性
サッカー協会	令和5年度から現在まで試行中	○	○
剣道部	令和5年度から現在まで試行中	○	○
卓球協会	令和6年度から現在まで試行中	○	○
柔道部	令和6年度から現在まで試行中	○	○
ソフトテニス連盟	テニスコートの確保 (中学校のコートが必要)	○	○
空手道少年団	既存の活動時間内であれば可	×	○
レスリング協会	既存の活動時間内であれば可 1か所での実施 他のクラブ員と同じ年会費の徴収	×	○
弓道部	中学生が使用できる弓具の用意 人数上限10名まで	×	○
バスケットボール協会	既存の活動時間内であれば可	○	○
軟式野球部	なし	○	×
軟式野球少年団	小学生以下対象のため	○	×
テニス部	競技部として指導者が確保できない	×	×
バレーボール部	競技部として指導者が確保できない	○	×
バレーボール少年団	少年団として受け入れできない	○	×
ソフトボール協会	なし	○	×
バドミントン部	なし	×	×

(2) 文化系 (文化協会) ※受入可能性ありの団体・教室のみを掲載

NO.	団体名	内容	意向等
1	岩島禮子書道塾	書道	月謝、入会金が必要。
2	書道研究立玄社	書道	月謝、会費が必要。半紙・墨等は実費。年に数回公募展あり。
3	華苑習字教室	書道	会費が必要。月3回以上活動。級認定取得を目指す。各地書道展に出品可能。
4	真桜書院	書道	月謝が必要。希望があれば学校へ出向いて指導可能。
5	書道教室あおぞら	書道	月謝が必要。常滑市席上揮ごう大会に参加が必要。
6	常滑陶彫会 (肥田豊)	彫刻	希望があれば出張可能。時間はこだわらない。
7	陶芸部	陶芸	希望があれば学校へ出向いて指導可能。
8	コーラスわんすてっぷ	コーラス	協議による。平均年齢が高く中学生に合わせた楽曲を選んでの練習は難しい。
9	平野麗子と箏曲エコー社	箏	講師が出向いて活動が望ましい(常滑中に楽器があり)。
10	早川恵子箏愛会	箏	琴のツメ等実費負担と楽器使用料必要。南陵中に琴が10面あり活躍できたら良い。
11	三味線倶楽部・月	三味線	津軽三味線に興味がある人ならよい。
12	豊竜昇会	民踊	会場の提供があれば、曜日、時間は協議による。
13	内田有久・有香の会	日本舞踊	月謝が必要。詳細は協議による。
14	西川幾都美会	日本舞踊	月謝が必要。浴衣・扇・足袋は実費。常滑市の邦楽会、知多市芸能祭に出演。
15	百合の会	日本舞踊	月謝が必要。5月・10月に常滑市の邦楽会に出演。
16	Team・Himawari	ダンス	学校に出向いて指導可能。月謝は要相談。
17	青木アツ子ジャズダンス	ダンス	現会員と同じ月謝等が必要。
18	平野令子創作舞踊研究所	創作舞踊	3~4名までであれば受入可能。創作舞台芸能部発表会に参加。
19	紅の会	華道	一部材料負担あり。流儀花の稽古ではない。個々に合わせての指導。
20	さわらび会	茶道	学校に出向いて指導可能。会費が必要(お茶、お菓子代)。
21	己書友楽道場		講座料1,650円/1回
22	中学生吹奏楽	吹奏楽	令和5年度から現在まで試行中

(3)部活動と活動団体の状況整理

運動種目	部活動	活動団体	受け皿 (意向団体)	文化種目	部活動	活動団体	受け皿 (意向団体)
野球	○	△	×	吹奏楽	○	○	R5試行○
サッカー	○	○	R5試行○	美術	青・鬼○	○	○
ソフトボール	○	△	×	工芸	鬼○	△	×
バレーボール	○	△	×	パソコン	常○	×	×
ソフトテニス	○	○	○	創作	常○	△	△
バスケット	○	○	○	文化科学	南○	△	△
卓球	○	○	R6試行○	彫刻	×	○	○
剣道	○	○	R5試行○	陶芸	×	○	○
柔道	鬼・常○	○	R6試行○	箏	×	○	○
水泳	鬼・常○	×	×	三味線	×	○	○
空手道	×	○	○	邦楽	×	○	○
レスリング	×	○	○	ダンス	×	○	○
弓道	×	○	○	華道	×	○	○
バドミントン	×	△	×	茶道	×	○	○

※黄色網掛けは部活に対する受け皿あり、灰色網掛けは部活に対する受け皿は現時点ではない

3. 地域移行の手法について

部活動の地域移行は、以下のとおり様々な手法が想定されており、**地域の
実情にあわせた体制整備**が求められている

部活動の地域移行に関しては、**「部活動を地域で行う」ことを目指すものではなく**、「様々な活動(部活動と同じ活動に限らず)を希望する生徒に対して、その**機会を確保**する」ことを目的としており、以下4つの手法について整理・検討した

(1) 直営型

市が直営で地域クラブを新たに設置し運営する方式

(2) 包括委託型

市が民間企業等に地域クラブの設置運営を**委託する**方式

(3) 参加型

各種団体の**既存の活動に参加**する方式

(4) その他(指導員派遣型)

学校部活動の枠組みを維持しつつ**指導員を派遣**する方式

(1) 直営型(集約or分散)

①事業主体: 市教育委員会

②運営方法:

市が主体となって「地域クラブ」を立ち上げ、様々な種目について指導者の確保・派遣、参加生徒の募集、参加費の徴収、練習や大会参加など活動の維持・管理を行う

③メリット:

財政的・人的に余裕のある自治体であれば、オーダーメイドの地域クラブの整備が可能

④デメリット:

従来、各学校の顧問の教員が管理することで部活動が成立してきた。これを小規模自治体が集約して、数名の職員で安全管理等を確実にしながら継続することは、極めて困難な状況にある。

(試行で数種目の立ち上げ・維持管理も負担大)

(2) 包括委託型

①事業主体：市教育委員会

②運営方法：

市が「地域クラブ」の運営を民間企業や団体等に包括的に委託し、民間事業者が指導者の確保、参加生徒の募集、参加費の徴収、活動の管理などを行う

③メリット：

十分な委託費用と受託可能な民間企業やスポーツクラブ等があれば、質の高い活動が期待できる。

④デメリット：

常滑市の地域クラブを包括的に受託し、円滑かつ確実に運営できる民間企業等がない。

市内団体(体育協会など)に関しては、従来の活動に加えて新たに「地域クラブ」を運営することは、団体の負担が大きく、課題が多いことが、試行の中で明らかになってきた

(3)参加型

①**事業主体**: 体育協会・文化協会などの各種団体

②**運営方法**:

既存または新たに活動を開始する**各種団体の活動に生徒が参加**することで、活動機会を得る。団体に所属するため、通常の活動の一部として運営管理される。

③**メリット**:

各種団体の主体的な活動への参加となるため、団体の規模や活動内容等にもよるが、**生徒受入に対するハードルは低い。また、団員の数や活動規模の拡大等も期待できる。**

④**デメリット**:

活動日時は団体の判断となるため、**休日部活動の直接的な受け皿とならない可能性があり**、あくまでも自主的な活動を希望する生徒の**機会の確保**となる。

(4) その他(地域連携・指導員派遣型)

①**事業主体**:教育委員会

②**運営方法**:

従来の**学校部活動に地域の指導員を派遣**することで顧問の教員に代わり活動を管理し、指導を行う

③**メリット**:

生徒にとっては、指導者が変わること以外、従来の部活動から大きな変化がない

④**デメリット**:

学校部活動での活動となるため、**学校側の負担が残る**

今後、少子化がより進むことで生徒数が減少し、結果、**部活動の種目が減少し、生徒の活動の選択肢が減る**可能性が高い

(5)比較表

手法	(1)直営型	(2)包括委託型	(3)参加型	(4)その他(指導員派遣型)
事業主体	教育委員会	教育委員会	体育協会・文化協会などの 各種受入団体	教育委員会
運営方法	市が立ち上げ、管理を行う	民間企業や団体に 包括的に運営委託	各種団体の活動に 希望する生徒が参加	学校の部活動に 指導員を派遣して管理
メリット	オーダーメイドの地域クラブが 整備可能	質の高い活動が期待できる	団体が受け入れやすい 生徒が参加しやすい	生徒にとって部活動からの 大きな変化が少ない
デメリット	維持・管理が難しい	運営できる民間企業や 団体がない	生徒を受入できない 種目・団体がある	学校側の負担が残る (地域連携)
自治体の 財政的負担	大きい	非常に大きい	大きい	小さい
人的負担	自治体の負担が 極めて大きい	民間企業や団体に依存	各団体の負担が増の可能性	自治体の各種調整必要 教員の負担が減らない
持続性	自治体の人的・財政的負担による	民間企業に依存 財政的な負担が大きい	団体に依存するが、継続性あり	指導員の確保が不透明
保護者負担	あり	あり	あり	あり
生徒への影響	(実施方法による)	質の高い活動が期待できる	部活動と同じ活動ができない 可能性あり	部活動から変化が少ない
他市の状況	東浦町、岡崎市、春日井市	東海市、大府市、阿久比町	半田市、知多市、武豊町、美浜町	南知多町

4. 近隣自治体の状況

(1)実施方法など

自治体名	実施方法	実施主体	生徒の参加方法
半田市	参加型	統合型スポーツクラブ	統合型スポーツクラブの傘下に地域団体の活動に生徒が参加する。
東海市	包括委託型	(一社) スポーツクラブ東海	(一社) スポーツクラブ東海所属の協議団体が運営するジュニアクラブの活動に生徒が参加する。
大府市	包括委託型	おおぶ地域クラブ (民間事業者)	おおぶ地域クラブが運営する種目に生徒が参加する。
知多市	参加型	市内の地域スポーツクラブ等の団体	市内の地域スポーツ団体等の活動へ参加を促す形を想定して、検討委員会で協議を進めている
阿久比町	包括委託型	NPO法人	NPO法人に委託しているが、現状まだ進んでいない。
東浦町	直営型	ひがしうら地域クラブ(直営)	ひがしうら地域クラブでの活動に生徒が参加している
南知多町	地域連携・指導者派遣型	学校部活動	地域移行としての規模として、実施できないため、既存の部活動を生かす形で、教職員の負担軽減策として地域連携を進めていく想定。指導員を派遣する形を模索していく。
美浜町	参加型を想定	町内の地域スポーツクラブ等の団体	受入れ団体の調整を実施していく。
武豊町	参加型	町内の地域スポーツクラブ等の団体	地域クラブ活動推進協議会を設置して、受入れ団体の調整を実施していく。

(2)他市町の種目の状況	半田市	東海市	大府市	知多市	阿久比町	東浦町	南知多町	美浜町	武豊町
野球	◎	○	○	未定	未定	◎	未定	未定	×
サッカー	◎	○	○	—	—	◎	—	—	○
卓球	◎	○	○	—	—	◎	—	—	○
テニス	◎	○	○	—	—	×	—	—	×
剣道	◎	○	○	—	—	◎	—	—	○
柔道	◎	○	○	—	—	◎	—	—	○
弓道	◎	×	○	—	—	×	—	—	×
バスケットボール	◎	○	○	—	—	◎	—	—	○
陸上	◎	○	○	—	—	×	—	—	○
ラグビー	◎	○	×	—	—	×	—	—	×
バレーボール	◎	○	○	—	—	◎	—	—	×
ソフトボール	◎	○	○	—	—	×	—	—	×
ハンドボール	◎	○	×	—	—	◎	—	—	×
バドミントン	◎	○	○	—	—	×	—	—	×
新体操	×	×	×	—	—	×	—	—	○
ビーチボール	×	×	×	—	—	×	—	—	○
空手	×	×	×	—	—	×	—	—	○
プロギング	×	×	×	—	—	×	—	—	○
ホッケー	◎	×	×	—	—	×	—	—	×
チャアリーディング	◎	×	×	—	—	×	—	—	×
ヨガ	◎	×	×	—	—	×	—	—	×
合気道	◎	×	×	—	—	×	—	—	×
吹奏楽	◎	×	×	—	—	◎	—	—	×
合唱	◎	×	×	—	—	×	—	—	×
芸能、茶華道、文芸、邦楽、美術等	◎	×	美術、文芸	—	—	×	—	—	×
総合文化（書道、囲碁、絵画、茶華道）	×	×	書道	—	—	◎	—	—	×
生活	×	×	○	—	—	×	—	—	×
演劇	×	×	×	—	—	×	—	—	○
和太鼓	×	×	×	—	—	×	—	—	○
コンピュータ	×	×	○	—	—	×	—	—	×
キャリア学習	◎	×	×	—	—	×	—	—	×
種目数	21	13	17	0	0	10	0	0	12

◎:実施中
○:予定

5. 平日部活動の状況

・国の方針(R4.6)

平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた**休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進**

・県の方針(R5.6)

休日における地域の環境整備を着実に進めることとし、平日については**実情に応じて取り組む**

・知多5市5町の状況

平日の地域移行を進めている自治体は、現時点ではなし

6. 今後のスケジュール

(1) スケジュール表

時期	項目	内容
7月10日	第1回検討委員会	<ul style="list-style-type: none">・委員会設置要領・国や県の部活動に関する動き・部活動の現状と課題・休日の部活動地域移行の試行・市内で活動する地域団体の把握・アンケート内容・意見交換
7月中旬	アンケート実施	<ul style="list-style-type: none">・教職員の部活動、地域移行に関するアンケート・児童・生徒、保護者の部活動、地域移行に関するアンケート
8月21日	教育委員会定例会	<ul style="list-style-type: none">・状況報告
(今回) 10月21日	第2回検討委員会	<ul style="list-style-type: none">・アンケート結果（児童生徒、保護者、教職員）・市内団体の意向調査結果（スポーツ・文化）・地域移行の手法について・近隣自治体の事例など・平日部活動の状況・休日部活動の地域移行後の大会参加について（他市の状況）
～	方針案の作成	<ul style="list-style-type: none">・委員会意見や中学校長の意見を踏まえて方針案の調整など
11月	第3回検討委員会	<ul style="list-style-type: none">・方針案のまとめ
(必要により)	(第4回検討委員会)	(予備日)
1月22日	教育委員会定例会	<ul style="list-style-type: none">・方針案の提出、決定
1月24日	市議会協議会	<ul style="list-style-type: none">・方針案を議会へ報告